

3 子どもの教育に 関する考え方



「第11回全国中学生創造ものづくり
教育フェア」全国大会

「あなたのためのお弁当」コンクール
優勝
テーマ【お父さんのためのお弁当】

鷹取中学校



「第11回全国中学生創造ものづくり
教育フェア」全国大会

「創造アイデアロボットコンテスト」
応用部門 審査員特別賞
【長井チャレンジ号】

長井中学校

3 子どもの教育に関する考え方

この計画では、4・5ページで示した計画の体系に基づき、各編の目標に向かって施策や事業に取り組んでいきますが、計画を策定するに当たっては、子どもは未来を担うとても大切な存在であることや、子どもの現状や社会的背景に鑑みて、子どもの教育を重点的に捉えることとしました。子どもは、家族や教師、地域の人々など、多くの人と出会い、支えられ、さまざまな影響を受けることにより成長し、社会を担う人となっていきます。それゆえ社会全体で子どもの成長・発達に関わっていくことが不可欠です。

そのために、11年間を通じての「横須賀の子ども像」と「目指す子どもの教育の姿」を示し、学校教育はもとより、社会教育、スポーツにおいても、学校・家庭・地域が共通の意識を持ち、相互に連携を図って、子どもの教育に取り組むということに重きを置いて、各編の施策・事業を推進していきます。



小学生と中学生の交流活動



子どものための音楽会

【横須賀の子ども像】

『人間性豊かな子ども』

自ら進んで学び、問題解決する力を身に付けている

生命や人権を尊重し、他者との豊かな関わりを持っている

心と体の健康を意識し、健やかな体を持っている

自らの可能性を信じ、夢や目標に向かって努力している

社会の一員としてルールを守り、主体的に社会に貢献している

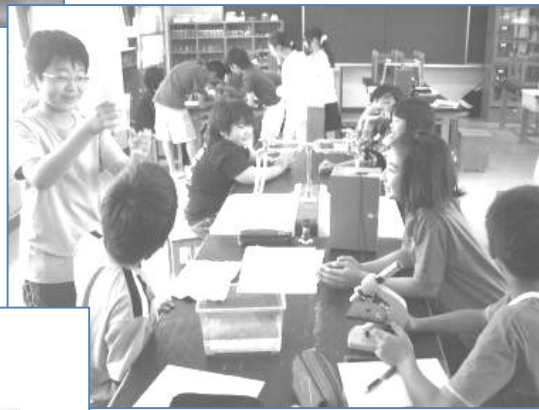
郷土を愛し、豊かな国際性を身に付けている

これまで、横須賀市では目指す子ども像を『人間性豊かな子ども』とし、子どもの豊かな人格形成に向けて取り組んできました。

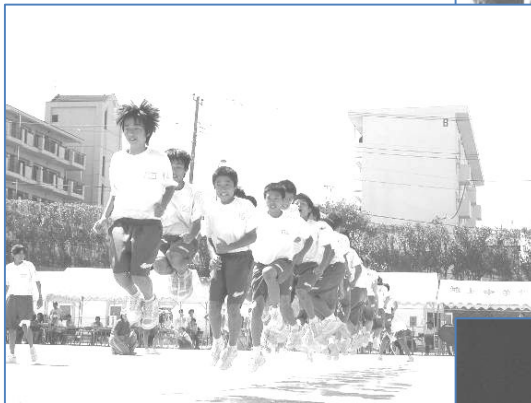
これまでの経緯や子どもの現状を考え合わせ、「横須賀の子ども像」として、新たに『人間性豊かな子ども』を位置付けることとしました。また、教育基本法を踏まえ、学習指導要領における「生きる力」や横須賀の子どもの現状と課題を勘案し、特に大切にしたい6つの要素を掲げます。



幼稚園
(地域連携行事
「タコと遊ぼう」の様子)



小学校
(理科授業の様子)



中学校
(体育祭の様子)



高等学校
(「羅針」(総合的な学習の時間)
全体発表会の様子)

【目指す子どもの教育の姿】

『学校・家庭・地域が、それぞれの役割を果たすとともに、
信頼し、協力しながら、横須賀の子どもを育てている』

学 校

家庭や地域に積極的に関わりを求め、教育活動への協力体制を築くとともに、さまざまな教育活動を通して、子どもの「生きる力」を育成している。

家 庭

教育の原点であり、学校や地域に積極的に関わるとともに、子どもが、基本的な生活習慣を身に付けられるよう、また、自立心や思いやりの心などを持つよう、子どもを育てている。

地 域

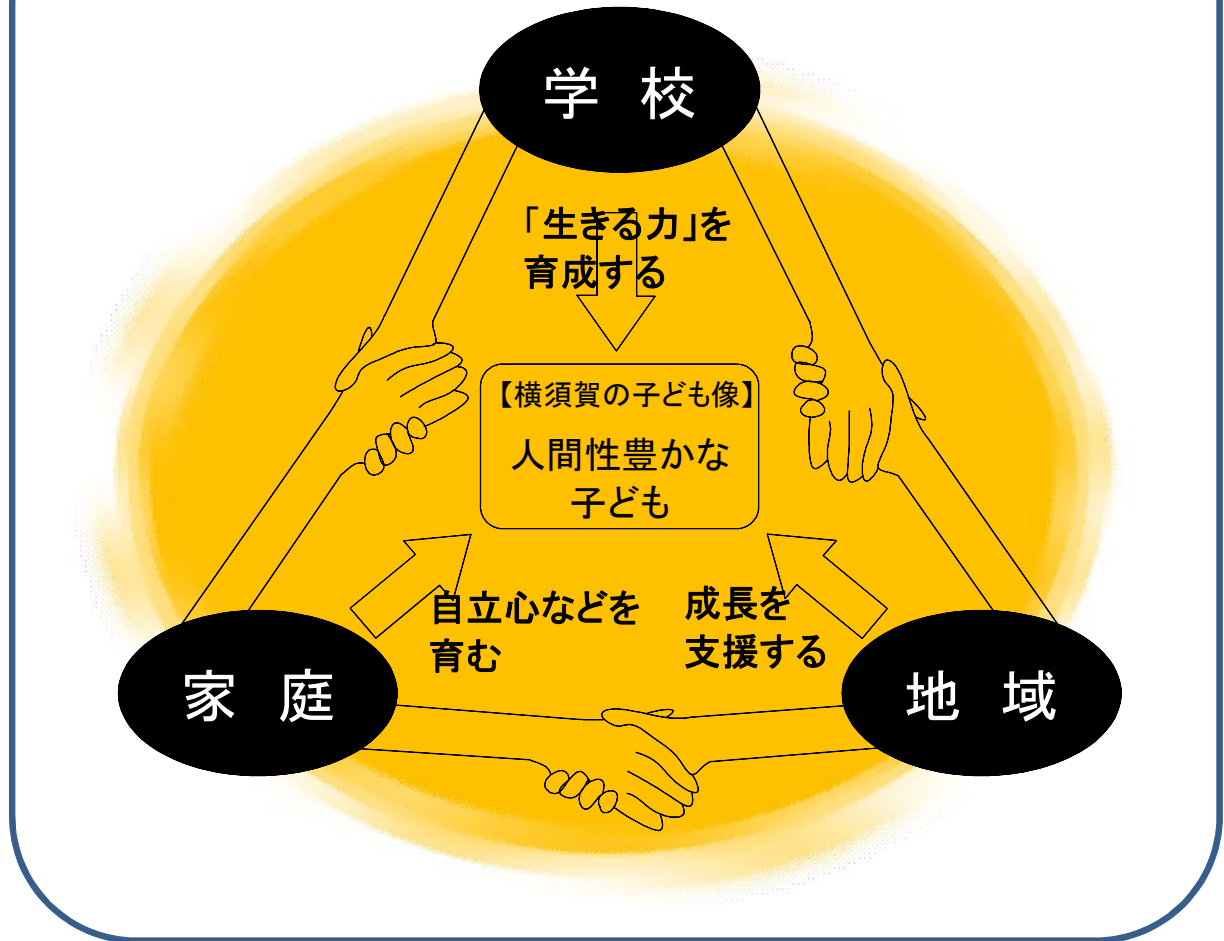
日常生活はもとより、行事、生涯学習、スポーツ、企業活動などさまざまな場面において、子どもや家庭に積極的に関わり、学校と連携して、子どもの成長を支援している。

近年、家庭や地域の教育力の低下が指摘されていることを特に重大な課題と捉え、学校・家庭・地域が本来の教育機能を発揮し、連携して、子どもを育てている状態を「目指す子どもの教育の姿」としました。

また、学校・家庭・地域が、主体的に子どもに関わる意識を持ち、役割を果たせるよう、子どもを育てているそれぞれの姿を示しました。

なお、教育委員会は、学校・家庭・地域が「目指す子どもの教育の姿」に向かって進めるよう、積極的に支援や仕組みづくりを行っていきます。

「目指す子どもの教育の姿」 イメージ図



重点課題

(平成 23 年度～平成 25 年度)

「横須賀の子ども像」「目指す子どもの教育の姿」の実現に向けて、解決すべき課題をあらためて捉え「重点課題」として位置付けました。

重点課題 1 学校・家庭・地域の連携推進

食事、睡眠、あいさつなどの基本的な生活習慣、家庭学習や読書、運動の習慣、社会のルールを守るといった規範意識^(注3)などを子どもに身に付けさせるには、学校・家庭・地域が共通の認識を持って子どもを育てることが重要です。そのために、学校・家庭・地域の連携をさらに推進することを目指して、学社連携・融合^(注4)や地域スポーツの充実、家庭向けリーフレットの配布など、学校・家庭・地域が、共に子どもの教育に関わる仕組みや場、機会を充実させます。

重点課題 2 学力・体力の向上

子どもの「学力や体力」に関する課題の解決に向けて、「思考力・判断力・表現力」「学習意欲や持続性」「体力・運動能力」の向上を目指して、各学校の「学力向上プラン」の充実や、子どもの「健康・体力向上」のための対策の検討に取り組みます。また、義務教育9年間の子どもの学びをつなぐ小中一貫教育の構築を図ります。

重点課題 3 いじめ・暴力・不登校の未然防止と早期解決

子どもの心の一面を映し出しているともいえる「いじめや暴力行為の発生率」「不登校^(注5)の出現率」が高いという状況を改善し、未然防止と早期解決を目指して、総合的な支援策や関係機関とのさらなる連携を進めます。また、小学校教育と中学校教育の滑らかな接続を図ることにより、子どもの過度な心の負担を減らします。

重点課題4 学校の教育力向上

教員が子どもと向き合う時間が十分に確保できていないことや、経験年数の少ない教員の割合が増えていることによるさまざまな課題に対応し、学校の教育力の向上を目指して、教員が子どもと向き合う環境づくりや人材育成などの支援策を進めます。

重点課題に対応する主な事業

学校教育編、社会教育編、スポーツ編の事業のうち、重点課題に対応する主な事業を示しました。

重点課題 No				事業名	掲載編	頁
1	2	3	4	学校いきいき事業	学校教育編	42
1	2	3	4	学校支援ボランティア・コーディネーター導入の検討	社会教育編	69
1	2	3	4	子ども読書活動推進事業	社会教育編	76
1	2	3	4	総合型地域スポーツクラブ ^(注6) 育成事業	スポーツ編	91
1	2	3	4	生活習慣向上推進事業	学校教育編	41
1	2	3	4	児童生徒健康・体力向上推進事業	スポーツ編	86
1	2	3	4	学校評価推進事業	学校教育編	34
1	2	3	4	学力向上事業	学校教育編	20
1	2	3	4	小中一貫教育 ^(注7) 構築事業	学校教育編	31
1	2	3	4	支援教育推進事業	学校教育編	27
1	2	3	4	不登校 ^(注5) 対策事業	学校教育編	27
1	2	3	4	人材育成推進支援	学校教育編	38
1	2	3	4	子どもと向き合う環境づくりに向けての総合的な支援策の検討	学校教育編	39

※網掛けの番号は、事業が対応する重点課題の番号を示します。

